

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※	甲	第	号
------	---	---	---	---

氏 名 Moe Khaing

論文題目

Geographic distribution and utilisation of CT and MRI services at public hospitals in Myanmar

(ミャンマーの公立病院におけるCTとMRI検査の分布と利用)

論文審査担当者

名古屋大学教授

主査 委員

長縄 慎二



名古屋大学教授

委員

錦織 宏



名古屋大学教授

委員

葛谷 雅文



名古屋大学教授

指導教授

濱嶋 信之



論文審査の結果の要旨

今回、2015年から2017年にかけてのミャンマーにおけるCTとMRIの普及、利用状況を評価したところ、2017年末時点でCTは45台、MRIは14台が公立病院に配備され、ジニ係数は各0.35, 0.69と何れも比較的高値であり、偏在していることが明らかとなった。CTは全ての地域に配備されたが、MRIは5地域のみが存在した。CT、MRI共に人口あたりの検査数は大都市や三次病院で高く、装置の台数は増加傾向にあるものの装置あたりの検査数は経時的に増加した。撮像部位はCTでは頭蓋/頭部領域が最も多く半分以上を占め、ミャンマーで主要な死因を占める外傷との関連が示唆された。CT及びMRI検査を普及させるためには各装置の利用率と人口カバー率を考慮して配備する必要があると考えられた。





本研究に対し、以下の点を議論した。

1. ミャンマーには公的保険制度が存在せず、公立病院ではCT、MRI検査は無料で提供される。私立病院にもCT、MRI装置は導入されているが、利用者が負担する費用は高く、大都市に限られるため一般的では無い。本研究はCT、MRI装置を持つ全ての公立病院のみを対象とした。
2. CT装置1台あたりの放射線科医数はカヤ州の2.0人/台が最も低く、サガイン州、モン州、ラカイン州、アイヤルワディ州の4州で7.0人/台の最大値を示した。放射線科医が偏在していると考えられた。ヤンゴン、ネピドー、マンダレーの大都市では二次病院にもCT装置が配備されているが、患者の紹介を受けずに三次病院を受診する傾向がある。また、人口が多いことから、大都市の三次病院は特にCT装置あたりの検査数が多い。このことから、一部の病院では従事者の労働負荷が大きくなっている可能性が示唆される。CT装置を普及する上で、利用率と人口カバー率に加え放射線科医の養成と充足が重要である。
3. 二次病院と三次病院間にはCT、MRI装置あたりの検査数は3倍の差が認められたため、利用率に応じて三次病院に重点的に予算配分をする必要がある。次に、CT、MRIの配備を進めるにあたり利用率や人口カバー率を考慮する必要があり、地域あたりの装置数には差が生ずる。ミャンマーは100以上の民族を持つ多民族国家であり、この差が生まれる原因について共通の理解を得る必要があり、本研究で得られた結果が活用できると考えられる。人口が少ない地域ではCT、MRI装置はより少なくなるため、検査を行うための紹介基準や搬送方法を確立する必要がある。

本研究は、ミャンマーのCT、MRI装置を普及させる上で、重要な知見を提供した。

以上の理由により、本研究は博士（医学）の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

試験の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 甲 第	号	氏 名	Moe Khaing
試験担当者	主査	長 純 恒 之 	副査 ₁	錦 織 宏 
	副査 ₂	葛 谷 雅 文 	指導教授	濱 嶋 信 之 
(試験の結果の要旨)				
<p>主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. CT、MRIに対する私立病院の役割について 2. 人的資源について 3. 将来的な方向性と問題点について <p>以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、医療行政学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員合議の上、合格と判断した。</p>				